

## 川崎臨海部企業の連携による廃プラスチック循環実証を開始します Kawasaki Circular Design Park supported by CLOMA

川崎市は、川崎臨海部をフィールドに花王株式会社、メビウスパッケージング株式会社、J&T 環境株式会社、株式会社Jサーキュラーシステムの4社とともに、国内最大級の海洋プラスチック問題に取り組む団体「Japan Clean Ocean Material Alliance (CLOMA)」と連携する業種横断の廃プラスチックの循環実証を令和6年10月から開始します。

4社及び川崎市は、令和6年度の実証内容において、川崎市が回収した廃プラスチックを活用し、選別とペレット化を行い、製品評価と課題の洗い出し、更なる実証内容の検討を行います。

また、この取組を起点に川崎臨海部エリアでのサーキュラーエコノミーの取組を「Kawasaki Circular Design Park」\*として、一体的に情報発信するとともに、新たな企業間プロジェクトの組成に繋がるよう伴走支援を行います。

川崎市は、これまで令和4年3月に策定した「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」に基づき、廃プラスチックやCO<sub>2</sub>といった炭素を含むものを資源として捉え、循環させることで新たな化石資源を増やさない炭素循環型のコンビナートの構築とサーキュラーエコノミーの実現を目指した取組を進めています。

令和4年4月には、「かわさきプラスチック循環プロジェクト（かわプラ）」を設立し、川崎市をフィールドに市民・事業者・行政の協働によるプラスチック循環を目指すなどの取組を通じて、市域の資源循環の仕組みづくりを推進しております。本実証は「かわプラ」の取組とも連携しながら進めます。

### 問合せ先

<本実証、Kawasaki Circular Design Park に関すること>

川崎市臨海部国際戦略本部成長戦略推進部 江崎

電話 044-200-2095

<かわさきプラスチック循環プロジェクトに関すること>

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 山田

電話 044-200-2557

## 1 実証メンバーと役割



## 2 令和6年度の実証内容（予定）

- (1) 川崎市が回収した廃プラスチックを提供
- (2) 製品利用に適したプラスチックの選別、ペレット化
- (3) ペレットの性状評価、課題の洗い出しと更なる実証内容の検討

## 3 スケジュール（予定）

令和6年 10月～ 再生材の対象となるプラスチックの選別（2～3回）

2月～ ペレット化及び性状評価、次年度実証内容の検討

令和7年 4月～ 分析、評価の継続、必要に応じて、新たな技術、選別方法の洗い出し

（CLOMAとの情報交換、実証への参加、連携の拡大）



### ※「Kawasaki Circular Design Park」

川崎臨海部エリアでものづくりの設計段階から循環型の仕組みづくりに挑戦する企業が連携して実施する取組を新たに「Kawasaki Circular Design Park」として推進

機能1 サークュラーエコミーのものづくりを「一連の輪」として情報発信

機能2 サークュラーエコミーの産業創出に繋がるプロジェクトを組成、伴走支援